

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 19 日

事業所名 多機能型事業所CoCoRear 放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			2つの部屋を使用し、スペースを活用しております。国の基準25㎡をクリアしています。
	2	職員の配置数は適切である	○			配置基準の人員数は確保出来ております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	段差のある部分に関しては必要に応じて介助を行っております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的にミーティングや支援会議などを行い、業務についての把握・改善を行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート用紙を配布し、保護者等の意見を集めて日々の業務改善につなげております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			保護者に配布、ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、検討していきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			不定期に研修を行っております。また、必要に応じて外部の研修に参加しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			職員間でのお子様の様子を話し合い、アセスメントに取り入れております。また、保護者向けのヒアリングシートを活用しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			個人に合わせたアセスメントツールを必要に応じて使用します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			月次会議で意見を求めながら立案しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事やお買い物体験等の余暇活動に活かせるようなプログラムを取り入れております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子様に応じた設定課題を決め、取り組んでおります。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別で行う作業や課題と集団で周囲と関わりを持ち、協力して活動を取り入れられるよう作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼と昼礼等で職員間でその日の活動や確認事項等を共有しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で支援の振り返りや情報共有を行っております。状況により、翌日の朝に共有することもあります。必ず共有しています。	その都度、話し合いを行います。職員間での共有をしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			様子を記録し、必要な改善点を話し合っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			相談支援員からの助言も参考にさせていただいております。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○			行っております。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて情報共有し、対応させていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在、受け入れ体制を取っておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		モニタリング等を通して情報共有に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて、情報の提供を行っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて連携をさせていただいております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在、行っておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		志木市自立支援協議会への参加をしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		今後も、面談や連絡帳を通して共有していけるよう努めてまいります。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	現在は、行っておりません。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談等で対応させていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在、行っておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		体制を整え、対応しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ・公式LINEでの情報発信が中心となっております。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人ファイルや記録等は、鍵付きの倉庫へ保管しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		日常の出来事なども含めて連絡帳や面談などで情報共有していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今後、検討してまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		ガイドラインを保護者へ配布しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練等の機会を設けております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、埼玉県研修に参加し、事業所内での共有を行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現在、対象のお子さんはいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	医師の指示書は頂いておりません。指示書がある場合、頂いて対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例を挙げていき、対応策を話し合っております。記録を作成しております。